

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-98	高等学校	地理歴史科	歴史総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	歴総 702	詳解歴史総合		

## 1. 編修の基本方針

### (1) 近現代の歴史の大きな変化を広い視野で捉えさせ、主体的な歴史学習が展開できる教科書

- 本文記述では、用語の羅列とならないよう事象の背景や歴史的な位置付けを丁寧にし、世界とそこにおける日本の近現代の歴史の変化を、大きな枠組みで捉えられるように心がけた。
- 各節や各項の冒頭に学習課題の事例を提示することで、問題意識をもって学習に取り組めるようにした。項末には、当該部分の学習内容を活用してさらに深い考察へと導く「トライ」を設け、学習者が自主的に学習を広げられるようにした。
- 近現代史を捉えるために基盤となる内容を概説した「前近代の世界」や、複数の時代や地域にまたがる大きなテーマを扱った「歴史のまなざし」といった特設ページを設け、歴史学習をいっそう広げたり深めたりできるようにした。

### (2) 歴史的な見方や考え方を働かせ、資料を活用して考察する力を培う教科書

- 各項の冒頭では中心的な資料とともに、当該資料を読み取る際に重要となる内容を記述し、学習者が資料をもとにして近現代史への考察を深められるような構成にした。
- 理解を深めるための注記や用語・事項解説を設置するとともに、学習内容に興味を深めるための人物コラムやコラムも各所に配置した。図版や年表は、ポイントを押さえる形で効果的に使用しており、端的でわかりやすい説明を付した。
- 「探究の方法」では主題設定、資料・情報の収集、考察と表現の方法をまとめ、さまざまな場面で活用できるようにした。

### (3) 現代社会に主体的に生きる自覚と資質を養う教科書

- 各章の4節では、現代的な諸課題の形成にかかわる歴史事象を豊富な資料をもとに考察を深めていく構成をとっており、学習者が歴史の当事者としての認識を持ち、よりよい社会の実現に向けた課題の克服に向き合う意欲をはぐくめるようにした。
- 各時代の人々の生活や文化を扱ったページを設け、それらが現在の生活や文化につながっていることに気付くとともに、各時代を人々が支えてきたことを理解し、学習者も社会の一員として現代および将来の社会形成に主体的に関与する姿勢を養えるようにした。
- 現代的な諸課題につながるテーマも幅広く取り上げている「歴史のまなざし」や、世界各地の歴史的な変遷について記した「地域の歴史」といった特設ページを設置しており、グローバル化する国際社会を生きていくために求められる、多面的・多角的に歴史を考察する力を身に付けられるようにした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>■前見返し・口絵</b> 現在の世界 東アジアの文化・宗教 南アジアの文化・宗教 西アジアの文化・宗教 ヨーロッパの文化・宗教 世界の言語・宗教	幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。	全体
	身近なものと歴史とのつながりについて、主体的に考えるとともに、自分の考えや意見を交換したりする活動へと学習を展開できるように配慮した(第2号)。	8～11ページ
	自らが歴史の当事者であることの自覚を促し、歴史を学ぶ意義について考えていく態度を養うように留意した(第3号)。	12～15ページ
<b>■序章 歴史の扉</b> 1節 歴史と私たち		

<p>2節 歴史の特質と資料</p> <p>前近代の日本と世界のつながり</p> <p>前近代の世界</p> <p>歴史と深くかかわる植物</p>	<p>人類が太古からさまざまな植物を活用したことについて提示し、こうした環境をこれからも保全していこうとする態度を養うようにした(第4号)。</p> <p>世界各地の文化・宗教について、その特色を提示するとともに、近代以前の我が国と他国とのつながりやその中で築き上げられてきた我が国の伝統や文化について考察できるように配慮した(第5号)。</p>	<p>25ページ</p> <p>口絵1～口絵8 16～24ページ</p>
<p>■第1章 近代化と私たち</p> <p>1節 近代化への問い</p> <p>2節 結びつく世界と日本の開国</p> <p>3節 国民国家と明治維新</p> <p>4節 近代化と現代的な諸課題</p> <p>この時代の生活・文化</p>	<p>幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。</p> <p>学習課題の事例を各項の冒頭に提示するとともに、各項の末尾に学習を深化させるための投げかけの文言を設置することで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した(第1号・第2号)。</p> <p>歴史上の人物を扱ったコラムを設け、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、近代社会においてさまざまな職業に従事して生活を営んでいる人々の姿が読み取れる資料を各所に提示しており、生徒の勤労観を育むようにした(第2号)。</p> <p>人々の主体的な参画によって社会の形成・変容が促された歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。</p> <p>産業革命による社会の変容が進むなかで、環境問題や衛生問題が発生したことと言及し、環境の保全に寄与する態度を養うように留意した(第4号)。</p> <p>近代社会における世界的なつながりの中で、現代にも受け継がれているさまざまな文化が発生したことなどを取り上げ、伝統や文化への理解を深めるとともに、それらを尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう配慮した(第5号)。</p>	<p>全体</p> <p>34～91ページ</p> <p>34～41, 44～55, 59, 64, 78ページなど</p> <p>28～93ページ</p> <p>33, 44～45, 51, 89ページなど</p> <p>36～43, 69, 75, 85, 92～93ページなど</p>
<p>■第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>1節 国際秩序の変化や大衆化への問い</p> <p>2節 第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>3節 経済危機と第二次世界大戦</p> <p>4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題</p> <p>この時代の生活・文化</p>	<p>幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。</p> <p>学習課題の事例を各項の冒頭に提示するとともに、各項の末尾に学習を深化させるための投げかけの文言を設置することで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した(第1号・第2号)。</p> <p>歴史上の人物を扱ったコラムを設け、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、20世紀初めの社会においてさまざまな職業に従事して生活を営んでいる人々の姿が読み取れる資料を各所に提示しており、生徒の勤労観を育むようにした(第2号)。</p> <p>人々の主体的な参画によって社会の</p>	<p>全体</p> <p>102～157ページ</p> <p>102～103, 112～115, 124～125, 129, 133, 147, 149ページなど</p> <p>96～159ページ</p>

	<p>形成・変容が促された歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。</p> <p>2度の大戦における多大な犠牲や、産業化が進展する中での公害の発生などについて取り上げ、生命を尊重する態度や、環境問題の解決に向けた姿勢を養うように留意した(第4号)。</p> <p>産業が発達し、人々の生活が変化していく中で、さまざまな文化が発生したことなどを取り上げ、伝統と文化への理解を深めるとともに、それらを尊重するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう配慮した(第5号)。</p>	
		97～98, 104～106, 138～145, 156ページなど
		102～103, 112～113, 120～123, 158～159ページなど
<p>■第3章 グローバル化と私たち</p> <p>1節 グローバル化への問い</p> <p>2節 冷戦と世界経済</p> <p>3節 世界秩序の変容と日本</p> <p>4節 現代的な諸課題の形成と展望</p> <p>この時代の生活・文化</p> <p>■探究の方法</p> <p>■世界史年表</p> <p>■後見返し</p> <p>世界の気候</p>	<p>幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。</p> <p>学習課題の事例を各項の冒頭に提示するとともに、各項の末尾に学習を深化させるための投げかけの文言を設置することで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した(第1号・第2号)。</p> <p>歴史上の人物を扱ったコラムを設け、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うようにした(第2号)。</p> <p>人々の主体的な参画によって社会の形成・変容が促された歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。</p> <p>さまざまな災害や国際紛争、地球環境の問題などについて取り上げ、生命を尊重する態度や、環境問題の解決に向けた姿勢を養うように留意した(第4号)。</p> <p>グローバル化や情報化が急速に進展していく社会の中で、さまざまな文化が発生したことなどを取り上げ、伝統と文化への理解を深めるとともに、それらを尊重するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう配慮した(第5号)。</p>	<p>全体</p> <p>168～209ページ</p> <p>168, 171, 175, 181, 184, 185, 190～191ページなど</p> <p>162～217ページ</p> <p>162～167, 174～177, 183, 197, 200～201, 210～215ページなど</p> <p>205～207, 216～217ページなど</p>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・コラムや特設ページ「歴史のまなざし」を各所に設けるとともに、写真・地図・図表を豊富かつ大きく見やすく掲載することなどで、生徒が主体的・意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した。
- ・ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させた。
- ・地図やグラフなどではカラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性などにかかわらず学習をすすめられるよう留意した。
- ・再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102－98	高等学校	地理歴史科	歴史総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	歴総 702	詳解歴史総合		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 1. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容の充実

- ・科目の導入「歴史の扉 歴史と私たち」や各章の1節や4節等、教科書の事例をもとに主題を設定し、その追究や解決のために資料・情報を収集し、自分の考えを文章でまとめて表現したり、意見を交換したりする活動を随所に盛り込み、学習者が主体的・対話的で深い学びに取り組めるように配慮した。
- ・各節や各項の冒頭に学習課題の事例を提示し、当該部分の学習内容でポイントとなる部分を明確にして学習を進められるようにした。項末には、当該部分の学習内容を総合的に振り返り、さらに深い考察へと展開するための問いかけを設け、学習者が自主的に学習を広げられるようにした。
- ・各時代の歴史事象を、豊富な資料で取り上げるとともに、資料を読み取る際の視点も提示しており、資料を活用しながら主体的な探究学習が展開できるようにした。

### 2. 特別支援教育に関わる適切な配慮

- ・教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させた。
- ・色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例をできるだけ使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい線種を減らしたりした。

### 3. 地理的条件などにも関連付け、現代の諸課題に着目した総合的な考察

- ・各章の内容は、世界とその中の日本を相互的に捉えられるように構成している。
- ・前見返し「現在の世界」や後見返し「世界の気候」では各国や気候帯を示す世界地図を掲載し、地理的条件と関連付けながら近現代史の学習が展開できるようにした。
- ・巻頭口絵で世界各地の宗教・文化を豊富な資料で解説するとともに、「前近代の世界」では近代世界の成立へとつながっていく重要なテーマについて概説しており、近現代の歴史を理解するために基盤となる知識を身に付けたうえで学習を進められるようにした。

### 4. 中学校までの学習との連続性にも留意した形での歴史的思考力の育成

- ・さまざまな視点のコラムや特設ページを設け、歴史を多面的・多角的に思考・判断・表現する力を養成し、国際社会を主体的に生き抜くための歴史認識の育成を図った。
- ・中学校での学習内容を概観する形で、「前近代の日本と世界のつながり」について振り返る特設ページを設けたり、各章の扉ページでは年表と写真資料を用いて中学校の学習内容を振り返らせたりするなど、各所で中学校までの学習との連続性を想起させる工夫を施している。
- ・各時代の生活や文化を取り上げたページを中心に、それぞれの時代を生きた人々の取り組みについて取り上げ、こうした動きが現在の生活につながっていることを学習者に実感させるとともに、伝統や文化を次代に保存・継承していく意識を涵養できるようにした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
序章 歴史の扉			4
1 節 歴史と私たち	内容 A-(1)	8～11 ページ	2
2 節 歴史の特質と資料	内容 A-(2)	12～15 ページ	2

第1章 近代化と私たち			21
1節 近代化への問い	内容 B-(1)	28～33ページ	2
2節 結びつく世界と日本の開国	内容 B-(2)	34～55ページ	7
3節 国民国家と明治維新	内容 B-(3)	56～85ページ	10
4節 近代化と現代的な諸課題	内容 B-(4)	86～91ページ	2
第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち			23
1節 国際秩序の変化や大衆化への問い	内容 C-(1)	96～101ページ	2
2節 第一次世界大戦と大衆社会	内容 C-(2)	102～123ページ	9
3節 経済危機と第二次世界大戦	内容 C-(3)	124～151ページ	10
4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	内容 C-(4)	152～157ページ	2
第3章 グローバル化と私たち			22
1節 グローバル化への問い	内容 D-(1)	162～167ページ	2
2節 冷戦と世界経済	内容 D-(2)	168～187ページ	8
3節 世界秩序の変容と日本	内容 D-(3)	188～209ページ	8
4節 現代的な諸課題の形成と展望	内容 D-(4)	210～215ページ	4
		計	70